

整形外科

頸椎症

国吉病院

整形外科部長

矢作 宏 さん



頸椎<sup>けいつい</sup>が加齢で変形すると頸椎症となり、頸部痛や肩凝りが起こりやすくなります。さらに肩や上肢へ向かう神経の根元の圧迫で、上肢への放散痛、しびれ、麻痺<sup>まひ</sup>を来すと頸椎症性神経根症といわれ、頻度の高いものです。脊髄自体を圧

迫すると、手のしびれ、手指の動きがぎこちない、歩行が不安定になるなどがあり、頸椎症性脊髄症と呼ばれます。診断は診察とエックス線検査で推測できますが、磁気共鳴画像装置(MRI)では脊髄や神経根の圧迫がかなり分かりま

す。また、骨の細かい形態や異常な骨化はコンピューター断層撮影(CT)が優れています。治療は頸部痛や肩凝りであれば、首に負担の少ない生活、内服、温熱療法など保存的治療が行われます。神経根の圧迫で頑固な痛みの際は特殊な痛み止めやブロック注射を行うこともあります。根気よい治療が必要です。脊髄障害を生じた場合は手術になることもあります。肩凝り、頸部痛や、上肢のしびれは、他の病気で発症することも多いので、専門の先生にご相談ください。

国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】消化器内科・循環器内科・消化器外科・緩和ケア内科・整形外科 他